

01-01-420 機械土工（特殊掘削機土工）（SQ0108）

1 適用範囲

本歩掛は、法面上部のアンカー（立木等）と特殊掘削機をワイヤーロープで接続し、法面の土砂等の掘削・掻き落としを行う場合に適用する。

2 施工概要

施工フロー図は次のとおりとする。

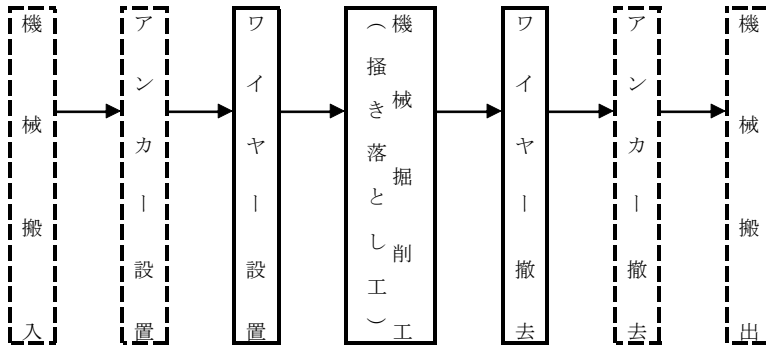


図2.1 施工フロー図

注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3 編成人員

表3.1 編成人員

工種	職種	
	土木一般世話役	法面工
機械掘削工	1.0	3.0
掻き落とし工	1.0	3.0
ワイヤーロープ設置	1.0 0.5	3.0 1.5
ワイヤーロープ撤去	1.0 0.5	3.0 1.5

(注) ワイヤロープ設置・撤去に係る法面工については、作業条件により次式により割増を行うこと。

・ワイヤーロープ設置・撤去に係る法面工人工数 = 標準人工数 × 割増係数

※割増後の法面人工数は小数第1位までとし、小数第2位を四捨五入とする。

割増係数は次式によること。

・割増係数 = 割増係数1 × 割増係数2 × 割増係数3

※割増係数は小数第1位までとし、小数第2位を四捨五入とする。

各係数については表3.2のとおり。

表3.2 ワイヤロープ設置・撤去に係る法面工の割増係数 (α)

係数の種類		割増係数
割増係数1 アンカー設置（立木等） 場所の勾配	45° 未満	1.0
	45° 以上60° 未満	1.2
	60° 以上	1.3
割増係数2 作業箇所の法面勾配	45° 未満	1.0
	45° 以上60° 未満	1.2
	60° 以上	1.3
割増係数3 ワイヤーロープ長	30m未満	1.0
	30m以上60m未満	1.2
	60m以上90m未満	1.3
	90m以上	※30m増す毎に係数が0.1増加

(2) 掻き落とし工100m3当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	1×100/D	表3.1 表5.2
法 面 工		〃	3×100/D	〃
特 殊 掘 削 機 運 転	クローラ型 山積0.16m3(平積0.14m3)	日	1×100/D	表4.1 表5.2
ワイヤーロープ等損料		〃	1×100/D	表5.2
諸 雑 費		%	5	
計				

(注) 諸雑費は、高所急斜面における作業の為の、メンテナンス、給油における休止作業の割増費用であり、労務費、機械運転費及び損料の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。

(3) ワイヤーロープ設置・撤去 1箇所当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人	$\pm(0.5+0.5)/D$	表3.1 表5.3
法 面 工		〃	$\pm(1.5+1.5) \times \alpha / D$	表3.1 表3.2 表5.3
諸 雑 費		%	20	
計				

(注) 諸雑費は、引張強度試験に係る費用であり、労務費の合計額に上記の率を乗じた金額を上限として計上する。

(4) 機械運転単価表

特殊掘削機運転

名 称	単 位	数 量	適用機械工歩掛
特 殊 運 転 手	人	1.00	02-01-600
軽 油	ℓ	52	
機 械 損 料	日	1.00	